

Kenren No.80 kanon

神奈川県
合唱連盟
機関・情報誌

2012 年度冬号

発行：2013.1.10

◆新年を迎えて◆

神奈川県合唱連盟理事長
松村 努

新しい年が始まりました。寒い毎日如何お過ごしでしょうか。

合唱団の皆様にとってこの時期は、コンディションとの戦いですね。

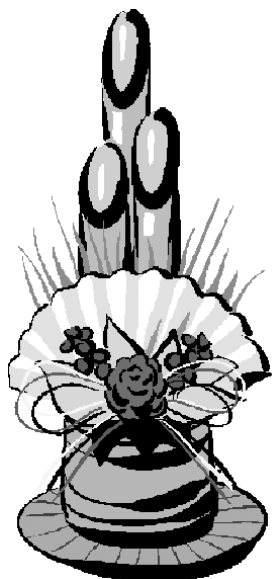
寒さもこれからがいよいよ本番、くれぐれもご自愛下さい。

さて、8ヶ月を経過いたしました神奈川県合唱連盟の理事会新体制。県連が抱える様々な問題を、一つ一つ丁寧に理事の皆さんにご検討いただき、少しずつ解決に向かっていきます。議論も非常に活発で、長時間にわたりご苦勞を頂いております。

理事会は、各合唱団が所属している部会を代表した方々にご参加頂いております。日頃の活動の中でお感じになった疑問、ご提案等ございましたら理事を通じて理事会の議論に反映させて頂けましたら幸いです。



松村 努 理事長



理事会では、様々な新しい試みも提案されています。合唱フェスティバル(2月11日)では、合唱団どうしの交流をテーマに、元気になれる歌 Vol.1 ~フェスティバルってお祭りだよね~を企画いたしました。また、合唱祭(6月8日・9日・22日・23日)では、他の合唱団の演奏を聴き合うことをテーマに、準備を進めています。このような企画によって、連盟に加盟している合唱団どうしが交流を深め、合唱を楽しみ、また切磋琢磨していけるような仲間として活動をしていけることを願っています。

県連各行事の運営が円滑に行われ、神奈川県の合唱が益々充実したものになるよう、新しい一年も精進して参りたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

第47回クリスマス音楽会「メサイア」演奏会

メサイア実行委員会
実行委員長：飛永悠佑輝

年末恒例のメサイア演奏会が12月9日（日）に県立音楽堂で開かれました。

今回も小泉ひろし先生指揮、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、ソリストにはソプラノ村元彩夏、カウンターテナー上杉清仁、テノール中嶋克彦、バリトン星野聡、チェンバロ長久真実子、オルガン宇内千晴（敬称略）という顔触れでの演奏会となりました。

今年はチケット完売、客席を見回しても空席は殆ど無く、舞台の上も大勢の人で埋め尽くされるという状態でした。というのも合唱の人数がソプラノ64名、アルト68名、テナー21名、バス33名の合計186名と、舞台に乗れるかどうかぎりぎりの人数だった訳です。それに加え、今回も音楽堂『メサイア』未来プロジェクトの一環で県立海老名高校と県立大和西高校合唱部の19名がハレルヤと終曲に参加しました。

この本番の前日には少し大きな地震がありました。久しぶりに大きな地震に対する恐怖さえ感じた地震でしたが、音楽堂からはこのように舞台が一杯の状態で行奏会をすることは地震や火災などの際に非常に怖い、来年からは何とかして人数を制限して欲しいと言われました。確かに地震が起きたらどう対処するか、前の晩に私も頭を悩ませて、色々シミュレーションして考えました。当日の諸注意では、建物は何より信頼おける造りなので焦って行動しないようにすることなどを皆さんに伝えましたが、当日は何もなくてひと安心でした。

演奏は人数の多さも手伝って、とても熱気を帯びた素晴らしいものになりました。高校生も松村理事長が学校に何回も出向き練習をつけ、また当日もぎりぎりまでリハーサル室で特訓した甲斐もあり、ハレルヤコーラス、終曲を華やかに盛り上げてくれました。

指揮者の小泉先生からは「お客さんも喜んでくれたし合唱団もみんないい顔をしていた。けれどももっと出来るはず、練習で出来ていたことがなかなか本番で出来ないのが残念、自分の練習には絶対に休まないで出てきて欲しい。」という少し厳しいお言葉もありました。来年は人数を絞るとともに、練習の出席回数も厳しくしなければいけないのかなという印象を持ちました。しかし、毎年の年末の楽しみ、ぜひまた来年もご参加をお願い致します。



メサイア演奏の様子



実行委員の皆さん



快挙達成！

Collegium Cantorum YOKOHAMA
(コレギウム・カントールム・ヨコハマ)

第3回

『クラクフ待降節とクリスマスの合唱祭』
にて室内合唱部門1位を受賞！

神奈川県合唱連盟に所属する Collegium Cantorum YOKOHAMA が、このたびポーランドのクラクフにて開催された国際合唱コンクールにおいて、優秀な成績を収められました。その大会での印象などをご寄稿いただきましたので、皆様を紹介いたします。

～★～

Collegium Cantorum YOKOHAMA はポーランド・クラクフにて12/7～9の期間開催された、3rd Krakow Advent & Christmas Choir Festival

(第3回クラクフ待降節とクリスマスの合唱祭) 内の国際合唱コンクールにて、コレギウム・カントールム・ヨコハマ(指揮: 松下耕) が室内合唱部門1位受賞に加え、参加17団体中、最高点となる97.4点を獲得致しました。



ガラ・コンサートでの様子

当コンクールは、待降節と降誕節(クリスマス)に関する宗教曲のみが演奏可能で、コレギウム・カントールム・ヨコハマは混声18名にて出場。

他の出場団体はポーランド、ドイツ、エストニア、アイルランド、シンガポール、南アフリカ共和国など、世界中の合唱団が集いました。

クラクフではコンクール本選のほかに、3回に及ぶ教会コンサートや、世界遺産である「聖マリア教会」にて開催された、コンクール出場団体が一堂に会するガラ・コンサートでの演奏を行いました。

クラクフでのコンクール終了後はポーランドの首都、ワルシャワに移動し、ショパン音楽大学にて、講師を松下耕、モデル合唱団をコレギウム・カントールム・ヨコハマが務め、音大生向けのレクチャーを開催したほか、市内の教会(Najświętszy Zbawiciel Church)にてコンサートを開催し、現地の人々に好評を博しました。

平均気温が氷点下10℃を下回る12月のポーランドでは声のコンディションを保つのに非常に苦労しましたが、様々な国の合唱団や現地の人々と音楽を通して

繋がることのできる数多くの演奏機会に恵まれ、大変貴重な経験をさせていただきました。

■現地で演奏曲



表彰式の様子



現地で演奏風景【fot. Jacek Karczewski】

3rd Krakow Advent & Christmas Choir Festival
コンクール本選(室内合唱部門)

- ・ O magnum mysterium (Tomás Luis de Victoria)
- ・ Hodie beata Virgo Maria (松下耕)
- ・ Nunc dimittis (Orbán György)
- ・ Nunc dimittis (Gustav Holst)

★その他、クラクフ教会コンサート、
およびワルシャワでの演奏曲

- ・ Sanctus-Benedictus (Heinrich Isaac)
- ・ Ubi caritas (Ola Gjeilo)
- ・ O lux beata trinitas (松下耕)
- ・ Aftonen (Hugo Alfvén)
- ・ Stämning (Wilhelm Peterson-Berger)
- ・ Och jungfrun hon går i ringen (Hugo Alfvén)
- ・ I Seraillets Have (Wilhelm Stenhammar)
- ・ SAKURA (松下耕)
- ・ 知覧節 (間宮芳生)
- ・ のよさ (間宮芳生)
- ・ さいさい節 (松下耕)
- ・ とう坂みま坂 (松下耕)

(記事寄稿: Collegium Cantorum YOKOHAMA)

第8回 Collegium Cantorum YOKOHAMA 定期演奏会
日時: 2013年7月27日(土) 14:00 開演(予定)
指揮: 松下耕、蟹江春香
会場: 上野学園 石橋メモリアルホール

『全国に響け！県代表合唱団』 密着取材～JCAコンクール全国大会

平成 24 年 8 月 22 日（水）および 9 月 2 日（日）に開催された第 55 回神奈川県合唱コンクールの結果、シード団体を含め、合計 18 団体が第 67 回関東合唱コンクールへと駒を進めました。その結果は以下の通りです。

（以下全国大会代表団体には★印）

<中学校・高等学校部門>

・日時：平成 24 年 9 月 22 日（土）～ 23 日（日）

・場所：さいたま市文化センター 大ホール

◆中学校部門同声

【金賞・代表】

★清泉女学院中学音楽部

【銅賞】

厚木市立南毛利中学校 合唱部

◆中学校部門混声

【金賞・代表】

★横浜市立緑が丘中学校合唱部

★横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校

◆高等学校部門 A

【金賞・代表】

★日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ

★清泉女学院高校音楽部

【金賞】

桐蔭学園女子コーラス部

【銅賞】

横浜英和女学院中学高等学校コーラス部

◆高等学校部門 B

【銅賞】

北鎌倉女子学園コーラス部

<大学・職場・一般部門>

・日時：平成 24 年 10 月 14 日（日）

・場所：コラニー文化ホール 大ホール

◆大学部門

【銅賞】

東海大学文化部連合会グリークラブ

◆職場部門

【金賞・代表】

★富士通川崎合唱団

【銀賞】

テルモ男声合唱団

◆一般部門 A

【金賞・代表】

★マルベリー・チェンバークワイア

★マルベリー・クワイア

【金賞】

La Pura Fuente

【銅賞】

アンサンブル・ピノ

◆一般部門 B

【金賞・代表】

★小田原少年少女合唱隊

★湘南はまゆう

【銀賞】

緑フラウエンコール

上記の結果の通り、今年の神奈川県代表団体はなんと 10 団体が全国大会に推薦されるという、大躍進の年となりました。

◎中学校・高等学校部門（10 月 27 日，28 日）

鹿児島市民文化ホール（鹿児島県）

◆中学校部門同声

【金賞】

清泉女学院中学音楽部

◆中学校部門混声

【金賞・鹿児島市長賞・カワイ奨励賞】

横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校

【銀賞】

横浜市立緑が丘中学校合唱部

◆高等学校部門 A

【金賞・鹿児島県教育委員会賞】

清泉女学院高校音楽部

【金賞】

日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ

◎大学・職場・一般部門（11 月 24 日，25 日）

富山市芸術文化ホール（富山県）

◆一般部門 A

【金賞】

マルベリー・チェンバークワイア

【銀賞】

マルベリー・クワイア

◆一般部門 B

【銀賞】

小田原少年少女合唱隊

【銅賞】

湘南はまゆう

◆職場部門

【銅賞】

富士通川崎合唱団

そこで今年はカノンの記事も趣向を変えて、全国大会に出場した各団体からご寄稿をいただき、その内容を取りまとめてみました。とても興味深い内容となっております。是非ご一読下さい。

（以下部門・紹介順不同）

+++++

<清泉女学院中学音楽部・高校音楽部>

高校生が鹿児島空港に下り立ったのはコンクール前日。お行儀の良い日本女子、浦和一女の生徒さんとご一緒の飛行機で、緊張感増しているかな？という往路でした。市内に入り歩道に積もるたくさんの火山灰を見た時が、鹿児島の地を踏むことができたという実感がわいた瞬間だったようです。

高校生の自由曲は、鈴木輝昭作曲《イエーツによる二つの譚詩》より「ふたつの白鳥」。昨年度、委嘱作品 3 曲の組曲《PSALMUS》が完成した時、生徒は、次は日本語を大切に思いを込めて歌いたいと希望してきました。翻訳物



の作曲はこれが初めてと言われる鈴木先生に無理をお願いし、イエーツの甘い恋の詩をテキストとし、鈴木作品特有の複雑な和声と輝く音の波が広がる曲が完成しました。7月に完成した楽譜が届いた時には、そのリズムと音程の複雑さに部員は顔面蒼白、県大会までの1ヶ月は音程とリズムの確保に明け暮れる毎日でした。自宅を使つての個人レッスン、部員のご自宅のお寺見学の際の音合わせ、県大会に間に合わないと焦りながらの短時間での集中練習は、スリリングで緊張感溢れる夏の思い出として残ったことと思います。関東大会直前では、大きな波のうねりや白い波しぶき、カモメの声や飛翔する前の羽のざわめき、トビの上昇気流にのった舞いなどが音像の中から沸き上がってくるようになり、練習中の皆の顔の輝きが、日々変化していくようになりました。そして全国大会のステージは、新しい音楽の創造に向けての悩みがすべて吹き飛び、自由にカモメ(白鳥)が舞い上がったと思える最高の一時でした。(前述の《PSALMUS》は、先月、音楽之友社より発刊されました。)

中学生の演奏曲は2010年に作曲されたハンガリーの現代宗教曲。技術的には、2オクターブ半もある音域にラテン語のテキストと中学生にはハードルが高く、内容の面でも、旧約聖書の苦しい時代に救い主キリストの誕生を告げる天使の声と喜びのアレルヤコーラスという変化に富んだ大作です。7月には、ハンガリーのサボー氏率いるプロムジカ女声合唱団と清泉女学院の講堂で共に歌わせていただくという機会を得たものの、天使の声を表現するまでにはヴォイストレーニングなどの基礎練習にかなりの時間を費やしました。鹿児島に向かって一日遅れで出発した中



学生は、飛行機の到着が遅れたために高校生の演奏に間に合わず残念な思いをしましたが、80人一緒に夕食時に高校生の

「金賞、鹿児島県教育委員会賞受賞」を共に喜び合ったことは遠征の楽しい思い出になったようです。当日は、時を超えて現代にも目映い幸せの光が溢れる事を願って心一つに歌い、その結果としての「金賞受賞」に喜びと安堵の声をあげていました。翌日は、桜島に足を踏み入れ、篤姫の住んでいた島津藩別邸の仙巖園から桜島が噴火する様子を眺め、楽しい思い出を胸一杯に鹿児島を後にしました。

中学、高校生揃って、桜島を間近に臨むホールで演奏できましたのも、神奈川県の皆様方の温かい応援の賜物と感謝申し上げます。今後とも、互いの心を重ね合わせながら、鮮やかな清泉サウンドを目指し歌って参ります。

(記事寄稿：佐藤 美紀子様)

<横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校合唱団>

本校合唱団は、歌うことが大好きな、中学3年生有志でこの4月に結成した合唱団です。

4月から、「全国行くぞ」とずっと言い続けて、団員の士気を高めてきましたが、だんだん自信を失ったこともあり

ます。Nコン関東甲信越大会で、全国への夢が絶たれてから、次こそはと、心を入れ替え、恐ろしいほどに変化があらわれ、あっという間に憧れの全国のステージに立つまでに至りました。全国大会当日2日前に、校内の合唱祭があり、コンディションの調整が厳しい中でしたが、以下の2曲を披露させていただきました。

◆混声合唱のための「方丈記」より

Ⅲ「夜もすがら」

嶋長明作詞 千原英喜作曲

◆混声合唱のための「コスミック・エレジー」より

Ⅱ「鬼女」

草野心平作詩 千原英喜作曲

二つの全く相対する曲の歌いわけと切りかえに留意し、歌詞の一つ一つにこだわりをもって、混声合唱の部のトリを思う存分楽しんで歌いました。悔いを残さない気持ちいい舞台でした。色々な苦労もありましたが、団員揃って出演する最後の舞台を 金賞・鹿児島市長賞(2位)・カワイ奨励賞までいただけるという形で終わられて本当に良かったです。

同じ神奈川県代表として、関東大会で、清泉女学院中学校や緑ヶ丘中学校が金賞を受賞し、共に全国への出場ができたことを、自分たちのことのように喜んでいて仲間がいました。全国大会の時には、私たちがいただいた賞に対して清泉女学院の皆さまが、同様に喜んでくれたと聞きました。合唱を通して、学校を越えて仲間のつながりが持てました。そんな仲間と同じ空間を味わい、そんな仲間と出会えたことを誇りに思います。大好きな合唱に没頭でき、幸せでした。団員・先生方・保護者の皆さま・友達・知人・一緒に戦った他校の仲間、全ての人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

(記事寄稿：増子 智己様)



<横浜市立緑ヶ丘中学校合唱部>

緑ヶ丘中学校合唱部・特別合唱部は、10月28日(日)に鹿児島市で行われた全日本合唱コンクールに



51名で出場し、関東支部代表として中学校混声部門で銀賞をいただきました。今回は生徒の代表の方に感想をいただきました。

全国大会のホールに入った瞬間、今まで経験してきた大会とは比べものにならない緊張と集中力に満ちている空気を感じました。そして「私がこの場にいて良いのかな」と不安になりました。でも舞台に立った時は緑ヶ丘中にしか

できない最高の合唱を歌う事が出来たので良かったです。

(3年：佐川 梨奈さん)

緑が丘中としては3回目の全国大会出場ですが、私たちにとっては初出場でした。緊張と不安で押しつぶされそうになりましたが、先生方や保護者の応援が支えになりました。舞台ではいつも通りの演奏が出来て、悔いはありません。この経験は一生の宝物です。

(3年：永地 星さん)

全国大会の練習はとてもつらかったのですが、誰一人あきらめませんでした。日々の練習で、根気強さや精神力が身についてきたからだと思います。当日会場に着いた時、ここに来ている学校は選び抜かれた学校なのだと改めて実感しました。舞台では「これは最初で最後の景色」と涙ぐみそうでしたが、歌い始めるととても楽しく、最高の演奏になりました。

(3年：澤田 桃香さん)

<日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ>

今年度のコーラスクラブの活動は、例年と同じように、Nコンの課題曲講習会参加に始まり、6月の合唱祭、8月始めにNコン神奈川県大会に出場。その後2週間も経たないうちに全日本合唱コンクール神奈川県大会が行われ、短い練習期間に課題曲も自由曲も異なる二曲をどう仕上げるか、かなりのエネルギーが必要でした。

課題曲は、淵上毛銭詩・瑞慶覧尚子曲の「無門」"かぜは〜"から始まる美しい旋律と繊細な言葉をどのように表現したら良いか、自然な発声と適切な息を交えて何度も練習を重ねました。

自由曲の「恋」は、与謝野晶子詩・鈴木輝昭作曲の『詩篇』から選びました。コーラスクラブにとって初めての鈴木先生の作品への挑戦でした。音取りは出来てもなかなか曲全体がまとまらず、いつまで経っても仕上がらない難曲でした。生徒達は与謝野晶子の生涯や作品を調べ、国語科の先生の許で詩の解釈を学び、詩の読み込みを深めていきました。「恋」が自分達の詩になり、曲が体に入ってくると、徐々に練習が楽しく感じるようになりました。関東大会では、伸び伸びと歌う喜びに溢れていたように思います。

ところが翌日から、また2週間の試験期間に入りクラブ活動禁止。活動が再開してからは、練習の虫となって学校の至る所で歌声を響かせていました。

全国大会は、Aグループの出場校14校のうち11番目の演奏でした。移動の際にどこからか聞こえてくる美しい声と重厚なハーモニーに、全国のレベルの高さを痛感しました。あとは自分を信じて貫くだけ！そう心に決めて指揮台に向かいました。

お世話になりました先生方、神奈川県合唱連盟から届きました応援メッセージ。本当に有り難うございました。諦



めない気持ちが花を咲かせてくれました。

(記事寄稿：丸山 恵子様)

<マルベリー・チェンバークワイア>

一般Aグループのトップバッターのマルベリー・チェンバークワイア(混声)は4年連続、10回目の参加となりました。たまたま今回の自由曲は宗教曲3曲の選曲となりました。シュニトケ作曲のロシア正教会の祈りの歌、26歳新進気鋭のエストニアの作曲家ウスベルクのキリエは本邦初演、アメリカの作曲家ストループの作品はユダヤ教徒のサウロが光に打たれてキリスト教徒に改宗しパウロになる様子を前半は激しく、改宗後は静かに歌いました。一般の合唱団はどちらも大同小異、メンバーが全員揃って練習することが大変な状況だと思いますが、私達も全員集まったのは当日の午前中の富山でした。前日に富山入りした人、夜行バスで到着した人、当日の早朝5時過ぎに小田原を出た人、など、など。「きつと寒いだろう」と思っていたのに小春日和に恵まれ、富山駅から練習会場まで、しばしの市内観光でした。年齢層が10代から60代と幅広く、高校生、大学生、教師、会社員など30名で歌いました。オーバードホールは「響かないホール」と多くの方から聞いていましたが、リハーサル室が超デッドだったのでホールの響きはさほどに感じませんでした。

(記事寄稿：桑原 妙子様)



<マルベリー・クワイア>

一般Aグループ6番のマルベリー・クワイア(女声)は4年連続9回目の参加です。マルベリー・チェンバークワイアの女声パートなので集合、更衣、写真撮影を割愛させていただいて混声の演奏後ステージからリハーサル室へ直行しました。全部門57団体中ハンガリーの作品を演奏するのはマルベリーだけ、その上審査員にハンガリーのエルディ・ペーテル先生がいらっしゃるの、留学中の東大4年生のハンガリーの学生に事前に発音指導をして頂きました。ハンガリー動乱直後に書かれた「黒いグロリア」という作品はソ連軍によって数千人が殺害された民衆の悲しみを「魂は安らかなることは無い、ああ悲しい天使」という内容です。2曲



目はフィンランドのヴォカリーゼで10声部を18人で動きをつけながら歌いました。初めて全国大会に参加した20年前はAグループの参加は少数でしたが最近ではBグループとほぼ同数、女声合唱はA+B併せて僅か5団体、と、時の流れを感じました。全員が小田原少年少女合唱隊の出身のため「ひとつ釜の飯」の仲、30年以上一緒に歌っているメンバーも数多く、コンクール参加で更に絆を深めています。

(記事寄稿：桑原 妙子様)

<小田原少年少女合唱隊>

一般Bグループ13番の小田原少年少女合唱隊は3年連続9回目の参加です。神奈川県合唱連盟に加盟を申し込んだ38年前は「連盟は大人のものですから」と一度断られたあとに加盟を認められました。そのときから県大会に参加し続け県大会参加は37回目です。こどもたちは31校から集まっているため、常に誰かがテスト中の状態で、当日は小田原5時50分集合、解散24時という長い一日の中で数人は勉強をしていました。「烏かねもん勘三郎」「ていんさぐぬ花」「ことばあそびうた」と3曲とも邦人作品を演奏しました。松下耕先生の「ことばあそびうた」は5拍子などの変拍子の部分が多く、練習を始めた時は「歌えるようになるのか？」と思う位に難しかったのですが、今では大好きな曲になっています。歌い終えたときに会場の皆さんが「うふふ・・・」と笑ってくださったのも嬉しい思い出となりました。富山名物のお弁当が駅で売り切れていたのが残念でした。



(記事寄稿：桑原 妙子様)

<富士通川崎合唱団>

今年で最後となる職場部門でのコンクール全国大会出場ということで、いつになく団員の士気も高まっていました。課題曲はG1『Ego sum panis vivus』、自由曲はR.Dubra作曲の『Ave Maria III』とV.Miskinis作曲の『Cantate Domino』と、全曲私たちが普段から慣れ親しんでいるラテン語のテキストの曲での演奏となりました。

職場部門は毎年朝一番からの演奏で、順番によっては10時過ぎに本番ということもあります。今回の私たちも出演順3番目ということで、11時前には本番演奏を迎える予定になっていました。会場への入り時間を考えると、朝の7時ごろから練習をしないと、声を作ることもできない…という問題を今回も抱えていましたが、そこは職場部門所属の長所を生かし、富士通・富山支店のご協力により、早朝

より会議室をお借りして練習をすることができました。このように色々な方のご支援を受けた本番で、気持ちよく演奏をさせて頂きました。

今回のコンクールを持って大・職・一般の枠組みはなくなり、新しい形のコンクールが来年度よりはじまりますが、これまでの65年にわたるコンクールの歴史を支えてくれた職場部門に感謝の意を表して、閉会式でささやかな横断幕を掲げました。



(カノン担当：栗林 宏至)

<湘南はまゆう>

11月25日の富山は雲ひとつない快晴、真っ青な空に立山連峰が白く輝き、私達の心も晴れ晴れとしていました。愛情を注ぎ練習を重ねて歌いこんできた曲を、皆でははる出かけてきて“全国大会”というステージで歌える喜びは、やはり格別なものがあります。

2年ぶり4回目の出場となりましたが、出場すると決まっただけで舞い上がったり、周りの大きな合唱団、有名な合唱団に圧倒されていたところに比べて、地に足の着いた自分たちらしい演奏ができたのではないかと思います。結果は銅賞でしたが、あの時の演奏と、そこにたどり着くまでの密度の高い充実した時間は、私達の宝物です。

心通うメンバーとのほのぼのの旅行気分もお楽しみのひとつ。当日の練習会場のある呉羽は、富山のひとつ隣のローカルな駅。切符を切ってくれる駅員さんがいるレトロな駅舎の待合室に、一枚の絵のようにさりげなく収まっているのは全員はまゆうメンバーだった、などということもありました。

65回という歴史あるコンクールの中で、大きな節目となる大会に出場できたことも得難い経験になりました。今までのカテゴリーが最後になるため、前日の審査待ちの時間に大学生がホールに集まり、各校が次々と校歌や持ち歌を披露してエール交換を行っていました。全員で大合唱する「大地讃頌」や「鷗」、男声合唱の「斎太郎節」には胸が熱くなりました。合唱っていいですね！

来年度からどうなっていくのかは未知数ですが、これからも自分たちの力を伸ばし、そして楽しめるような目標としてチャレンジしていきたいと思っています。

(カノン担当：青山 道代)



『シニア部門の祭典！』
ヴィサン《人生百歳》
 ジョイントコーラスフェスティバルinよこはま

ヴィサン実行委員会
 実行委員長 杉山範雄

平成24年11月15日(木)『第18回ヴィサン《人生百歳》ジョイントコーラスフェスティバルinよこはま』が、横浜みなとみらい大ホールにて開催されました。残響時間2.1秒(満席時)という素晴らしい響きが魅力の大ホールで歌いたいと、今年も全35団体(内、県外3団体〈東京、千葉〉、初参加3団体)、約1,000人が集まりました。今年の講師には、日本合唱指揮者協会、東京都合唱連盟の副理事長であられる指揮者の清水昭先生、栃木県合唱連盟副理事長であられる鈴木静枝先生をお招きし、各団体への講評をいただきました。

A、B、Cの3ブロック制で、ブロック毎に全体合唱として連盟歌『朝の光に』(作曲:信長貴富)、ヴィサンのテーマソング『歌があるから』(作曲:吉田孝古磨)を歌いました。(Aブロック・指揮:福田美知子副理事長 伴奏:金井達子先生、Bブロック・指揮:松村努理事長、伴奏:南部麻里先生、Cブロック指揮:飛永悠佑輝先生、杉山範雄実行委員長 伴奏:平川恵里先生)。また前回ブロック毎に設けた『お楽しみ大抽選会』から、今年から講師の先生方の『特に印象に残った団体(演奏だけでなく、笑顔、衣装、パフォーマンスなど)』へ贈られる講師賞を導入し、講師賞目指して各ブロックとも熱い演奏が繰り広げられました。



会場での集合の様子

＜講師賞 選考結果(出演順)＞

Aブロック

- ・男のコーラス・ドッグウッド (横浜市)
- ・晴嵐男声合唱団 (横浜市)
- ・来福寺合唱団「鹿の子」(三浦市)
- ・本居長世をうたう会 (大和市)

Bブロック

- ・おたまじゃくしの会 (川崎市)
- ・(財)ライフ・プランニングセンター「新老人の会」
コールバンダナ&コールアミカ (東京・神奈川)
- ・まほろば煌(きらら) (横浜市)
- ・草笛コーラス (秦野市)

Cブロック

- ・女声合唱団横浜木せい会 (横浜市)
- ・男声合唱団フロイデ (相模原市)
- ・JIRA 男声合唱団 (横浜市)
- ・ザ・シワクチャーズ横浜 (横浜市)

＜初参加団体＞

- ・市沢スローコール (横浜市)
- ・金沢混声合唱団 (横浜市)
- ・六声会合唱団 (東京)

役員改選に伴い、ヴィサン実行委員会も再編され、毎回全員で確認しながらの作業は大変ではありましたが、どんどんチームワークが良くなり、当日にもそれが生かすことが出来ました。最後に朝9時から10時間ずっとお手伝いくださったスタッフの方々、本当にありがとうございました。次回もより楽しいヴィサンとなるよう企画中です。是非来年もふるってご参加ください。



実行委員会の皆さん

カトウ先生の『合唱基礎のキソ』

♪第4回♪ ～最終回：音形練習紹介～

合唱の練習をしていて、たびたび指摘されることのひとつに音程の問題があります。楽譜通りに歌っているつもりでも、上ずったり下がったりして注意されることが練習中にありますね。今回は、そういう時に使えるちょっとした練習のコツを紹介しましょう。

まず最初に、「自分の声を知る」ことです。

合唱の練習中は自分の声ばかり聞いているわけにはいきませんので、練習を録音するのが効果的です。

音程を直したいという悩みを解決するためなので、この場合は自分の近くで録るほうが良いでしょう。自分の練習中の声を聞くのはちょっと…と思う方もいるかも知れませんが、客観的に聞くことが上達への近道です。是非試してください。「自分はどこで音程が狂うのか」ということを知る事が大切です。曲の中のどの部分が苦手なのか、どんな音形が難しいのか、いくつかパターンを知ることで、何を練習したらいいのか理解できます。そうしたら、その苦手な部分を集中して練習することで解決へ近付く事ができるでしょう。

以下、例として、1) 順次進行、2) 跳躍音形、3) 長く伸ばす音、の三つのケースをあげて、解決するための練習方法を考えてみます（すべて固定ドで音名を書きます）。

1. 順次進行の音形

譜例 1



このような音形で高いミの音程を指摘される人は、以下の二つのことを考えてみてください。

- 1) フレーズ最初のラの音（中音域の声）から高いミの音（高音域の声）への声のつながりが滑らかにいかない
- 2) フレーズ最初のラ、付点四分音符で力み過ぎている、あるいは支えができていない

このことを解決するために、譜例 2 を使います。

譜例 2



中音域と高音域の声をうまく混ぜるために、最初の小節の跳躍音形を、スタッカートで練習しましょう。うまく跳べるようになったらレガートで何度も繰り返します。何度跳躍しても上手く跳べるようになったら元の譜面に戻ります。

また、元の譜面からリズム割りを変えた 2 小節目を軽々と歌って、高いミの音を何度も反復させてみます。身体の力みが取れたら（あるいは下の音の支えができた）元の譜面で練習をしましょう。

2. 跳躍音形

譜例 3



ドから高いファにうまく跳べない場合、以下の譜例 4 を 1 小節ずつ練習してみましょう。

譜例 4



1 小節目は「ドから高いファへ飛ぶ」練習のために跳躍音形の間を埋めてあります。順次進行してから跳躍を繰り返してみましょう。また上手く跳躍できない原因として、「その一つ前の音に問題がある」場合があります。その時は 2 小節目のようにラから順次進行して最後の跳躍を跳んでみます。あるいは、3 小節目のように跳躍音階のみ練習をしてから元の譜面に戻るのも良いでしょう。

3. 長く伸ばす音

譜例 5



高いファで 7 拍伸ばす間に音程が保てなくなる人は、譜例 6（譜例 5 の後ろ 2 小節の変形）のように、短く分割して練習すると良いでしょう。

譜例 6



最初はこのように 1 拍ずつ、歌詞欄に書いたように毎回「me」を言い直して、いい音程で 7 回続けられるようにします。次に歌詞欄下のように「me e e e」に変え、だんだん元の歌詞、長く伸ばす「me」でうまくできるようにします。1 拍ごと⇒2 拍ごと⇒4 拍と 3 拍⇒7 拍のように、少しずつ伸ばしていきます。

・息が足りなくなる／・身体の支えが抜ける

と、うまく音が流れなくなります。その都度、立ち止まって一つ前に戻って練習しましょう。

今回は簡単なケース 3 つをあげてみました。このような方法を応用して、他の部分も練習してみてください。

ちなみに、音程が上ずりがちな方はもともと高い声が出る細い声の方に多いように思います。力まず高い音が出て良いのですが、身体の支えができなくて声が「すっぱ抜けて」しまう時に上ずりがちなようです。

また下がりがちな方は、支えを作っているつもりで身体や顔（特に顎）が硬くなっている場合が多いようです。スタッカートで軽々動く練習が良いでしょう。

どんな時にも、下半身はどっしりとしっかり立ってください。合唱団の方によくお願いをするのですが、「しっかり保ちながら、いつでも守備に走れるような柔らかい膝裏で（＝棒立ちにならない）」ということ意識していただくと良いと思います。

さて、「合唱基礎のキソ」は今回で最終回となります。取り上げられなかったこともたくさんありますが、また別の機会に皆さんとご一緒に考えていきましょう。これまで読んでくださってありがとうございました。そして連載の機会を与えて下さいました神奈川県合唱連盟、特にカノン編集部の皆さまには大変お世話になりました。心から感謝いたします。

（合唱指導者・声楽家：加藤雅子）

『かながわの合唱団を訪ねて』

第14回

【婦人】杉山幼稚園コールなおび

地下鉄蒔田駅を出ると、アスファルトが濡れていて、今日は冷たい雨の一日かな・・・。
 ちょっとブルーでしたが、それを吹き飛ばす元気な子供の声が聞こえてきました。そこが今日訪問させていただく杉山神社幼稚園です。

ちょっと離れた所にあるプレイルームが、コールなおびさんの練習場所。流れてくる歌声に誘われるように入っていくと、練習の真っ最中です。



練習場所のプレイルーム

藤元薫子先生の指揮、上田ますみ先生のピアノに合わせ皆さん元気に歌っていました。

団の名前の由来は、「浄明正直」の中から「直」をとり「なおび」とされたそうです。

1978年に、杉山神社幼稚園父母会合唱部として発足、1983年に「杉山神社幼稚園 コールなおび」と改名し現在に至っています。先生を始め皆さんの阿吽の呼吸は34年の歴史を感じました。

楽譜は読めなくても大丈夫！大きな声で間違えて！

なんとも心強い先生の言葉に団員さん達も思い切り歌えるそうです。



藤元先生（左）と上田先生

幼稚園の音楽会、南区の親と子の合唱祭、蒔田祭り、コーラルフェスト、県の合唱祭と本番もめじろ押し。民謡・童謡・

ポップスまでレパートリーは広い中、特筆すべきは藤元先生ご自身の作曲の初演を数こなしていることです。藤元先生は、今で言うシンガーソングライター。作詩も作曲もなさいます。

ご自身の作曲したものに、団員さんと共に命を吹き込む・・・指揮者冥利に尽きると思います。

昨年7月に開催された『ダブル7コンサート 作曲—藤元薫子の世界—』は、神奈川県立音楽堂に満員のお客様をお迎えしました。

全てが藤元先生の作品で埋め尽くされたコンサートは、彩り豊かで会場の目を釘付けにしたそうです。

合唱はもちろん、幼稚園児の可愛いオペレッタから、笙や尺八が加わった演奏、ピアノソロに独唱・・・先生の想いのこもった曲が溢れ出ていました。再演を望む声も多いのではないのでしょうか。



ダブル7コンサート開催時の集合写真

団員の皆さまにも、色々とお話を伺いました。

練習に来ると、気持ちが晴れて嫌なことも吹き飛びます。先生のパワーを貰いに来ます。愚痴も言い合えます。練習後のティータイムも楽しい・・・皆さん口々におっしゃいます。

団員さんの和やかなムードは、今日訪問した私達でさえ仲間にして下さったような気がしました。

練習を見学させて頂き、こんな所にも目がいきました（いってしまいました）。

お二人お揃いの靴下カバー。団員さんの手作りだそうです。あまりに可愛かったので写真を撮らせていただきました。



おそろいの靴下カバー

今は2月の本番を目指し、たくさんの曲を練習しているそうです。

ステージドレスは『赤』。衣裳に負けない情熱と若さ、そしてエネルギッシュな藤元先生の指揮で、会場のお客様を楽しませてくれることでしょう。

取材を終えて外に出ると、お日様が出ていました。私達の心も温かくなっていました。

（カノン担当：吉田、青山）



皆さんで「はい、チーズ」

～杉山神社幼稚園コールなおび～

- ◆代表者：福原 初代
- ◆指揮者：藤元 薫子
- ◆ピアニスト：上田ますみ
- ◆練習日：毎週火曜日午前
- ◆練習場所：杉山神社幼稚園プレイルーム
（横浜市営地下鉄蒔田駅）
- ◆団員募集連絡先：045-711-1057（担当：帖佐^{ちょうさ}）

団員募集集中

『かながわの合唱団を訪ねて』

第15回

【一般】横浜メールクワイア

その日は師走のあわただしい、活気ある雰囲気を一瞬にして冷やすかのような、東日本大震災の大きな余震があった日でしたが、練習場の外に漏れ聴こえてきた歌声は男声特有の重厚感があり、大人の男声の渋みが利いた温かみあふれる声でした。

この日訪問したのは横浜メールクワイア。2001年に結成された比較的新しい合唱団です。

現在の団員数は50名。この日練習に参加していたのは40名強。まだ音の確認をしている練習中というところで、ところどころ指揮者の指導を受けながらも着実に練習を進めていました。



指揮者の指導に合わせて皆で練習中

その時練習していたのは西條八十作詞・本居長世作曲の『お山の大将』。今から90年近く前に作曲された作品ですが、子供たちの遊ぶ無邪気な風景と、お山の大将に表現される一人頂上に立つことの孤独を自然の風景と重ね合わせた素晴らしい曲です。

この団体の指揮者である小林正明先生は熟練したプロの男声ヴォーカリストでもあり、作曲家・編曲者としても数々の賞を受賞されている音楽に造詣の深い指導者です。現在は3つの合唱団で指導されています。曲が変わるごとにその曲に合わせた雰囲気を指導に織り交ぜていく指導法は、単調的な演奏とは全く無縁でした。「先生」と呼ばれることが嫌で、フレンドリーな親しみを感じさせながらも、練習からは音楽に対する厳しさや多様な世界観を表現しようとする、熱心な指導に、練習を眺めていた私もいつの間にか『男声の魅力』にひきこまれていました。



熱心に練習を指導する小林先生

練習後、指揮者の小林先生にお話を伺いました。

～合唱団との出会いはいつでしょうか？～

ちょうど2001年です。実はそれまで別の男声合唱団として活動していたのですが、都合で横浜メールクワイアを立てることになり、そこの指導者として私が指導することとなったというのが経緯です。

～合唱団の印象をお伺いさせてください～

発声をご指導いただいている川上さん（川上勝功先生）の指導法で、大きな声を出すのではなく、小さな優しい声から声を作っていくという方法がよく合っているようで、大きめの声でしっかりと曲を作っても、荒くない演奏ができています。練習に熱心なところもよいですね。

また、代表者の宮永正道さんにもお話を伺いました。
～普段はどのような活動をされていますか？～

定期演奏会を中心に活動していますが、それ以外にも障害者スポーツ文化センター『横浜ラポール』の『ハッピーコーラス2012』への出演、横浜市西区の合唱祭への参加などを中心にコンクールのような競い合いの活動とは一線を引いて、地元密着の活動を行っています。



代表者の宮永さん（中央）

～合唱団の特徴を教えてください～

男ばかり50名の集団です。平均年齢は大体ですが73歳くらいになりますでしょうか。いつの間にか平均年齢も上がってしまいました（笑）。ただ、なんとなく、大人の雰囲気というか、皆自律的に活動ができており、多数の人が集まる団体ではあるものの積極的なのが特徴ですね。

～団の中に更に個別サークルがあると聞きましたが～

はい。ゴルフや囲碁、ウォーキングやテニス等の活動を個別に行っています。また、飲み会などを開催しても参加者は多いです。

これからもダンディーな歌声を横浜の街に響かせて下さい。楽しみにしています。

（記事：カノン担当 栗林）



練習後、皆さんで「ハイ、チーズ」

～男声合唱団 横浜メールクワイア～

- ◆代表者：宮永 正道
- ◆合唱指導・指揮・編曲：小林 正明
- ◆発声指導：川上 勝功
- ◆練習ピアニスト：勝守 利夫
- ◆演奏会ピアニスト：須江 太郎
- ◆練習場所：フォーラム南大田（京急線「南大田駅」）
- ◆団員募集連絡先：090-4378-6361（担当：松村）

団員募集

カノンコンサートガイド

(お知らせ)

主催者の都合により、コンサート日程、内容等が変更となる場合がありますので、詳細につきましては各コンサートのお問合せ先にご確認ください。

1/27 (日)	川崎混声合唱団 第47回定期演奏会 14:00 ~ 川崎市多摩市民館 大ホール 入場料: 1,000 円 (全席自由) お問合せ: 栗飯原 044-900-3211 指揮: 小笠原吉秀 ピアノ: 遠藤有子 混声合唱組曲「あしたにうたう歌」鈴木憲夫、団員創作曲他
2/3 (日)	横浜合唱協会 第62回定期演奏会 八尋和美先生指揮者就任40周年記念 14:00 ~ 横浜みなとみらいホール 大ホール 入場料: S席 3,000 円 A席 2,000 円 学生500円 お問合せ: 藤井 045-894-3031(Tel&Fax) ycs_ensoukai@yahoo.co.jp プラームス「ドイツ・レクイエム」他 指揮: 八尋和美 ソプラノ: 天羽明恵 バリトン: 吉原輝
2/11 (月・祝)	日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ 第43回定期演奏会 13:30 ~ 日本女子大学西生田成瀬講堂 (小田急線読売ランド前駅下車) 入場料: 無料 (卒業生・保護者以外の方のご来校には招待状が必要となります。ご希望の方はご連絡ください) お問合せ: 梶田 044-952-0711 指揮: 丸山恵子 曲目: 木下牧子「褒のうた」、瑞慶覧尚子「無門」「野原」「約束」、鈴木輝昭「恋」ほか
2/24 (日)	あすなろ混声合唱団 第7回定期演奏会 ~花と心の旅ールネサンスから平成まで~ 14:00 ~ 鎌倉芸術館 小ホール 入場料: 無料 (入場整理券が必要) お問合せ: 水戸 046-866-4766 齊藤 080-5192-5419 「心の四季」「旅」伊歌曲「マドリガーレ」メドレー「HANA」 指揮: 上田勤 ピアノ: 関根、福田
3/2 (土)	歌のつばさ 第4回演奏会 14:00 ~ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料: 無料 (整理券が必要) お問合せ: 日下 045-421-7197 (Tel&Fax) 宮崎駿アニメソング タンゴ ほか
3/17 (日)	女声合唱団 ボカ・グランデ 第15回定期演奏会 14:00 ~ 鎌倉芸術館 小ホール 入場料: 1,000 円 お問合せ: 後藤 0467-32-8215 http://bocagrande.cocolog-nifty.com/blog/2012/ 指揮: 名島啓太 ピアノ: 久野圭子 千原英喜「みやこわすれ」、信長貴富「春」、チルコット曲集 他

3/29 (金)	神奈川県立生田高校グリークラブ 第31回定期演奏会 17:30 ~ 多摩市民館 大ホール 入場料: 無料 お問合せ: 山本 044-977-9829 1st: オペラ「秘密の結婚」 2nd: J - POP「年代別ヒットステージ」 3rd: 組曲「宇宙の果物」
3/30 (土)	神奈川県立多摩高等学校合唱部 第47回定期演奏会 17:30 ~ 麻生市民館 大ホール 入場料: 無料 お問合せ: 小川 044-911-7107 OB・現役合同ステージ森山至貴作曲「沈黙のありか」より、など様々な曲を演奏します。
4/6 (土)	円混声合唱団 10周年記念演奏会 -若い演奏家と共に- 14:00 ~ 神奈川県立音楽堂 入場料: 1,000 円 (全席自由) お問合せ: 小泉 0463-82-5156 星: 0463-22-1815 高田三郎「心の四季」 日本の四季「夕やけこやけ」 モーツァルト「戴冠ミサ」他 指揮: 田中登志生
4/7 (日)	女声合唱団コール・アイリス 第1回演奏会 14:00 ~ 杜のホールはしもと 入場料: 500 円 お問合せ: 松岡 090-6796-4495 指揮: 山本龍紀 ピアノ: 黒尾友美子 J・ブスト「ミサ・アウグスタ」より、三善晃「三つの抒情」他
4/7 (日)	女声合唱団クール・クロア 54周年定期演奏会 14:00 ~ 藤沢市民会館 大ホール 入場料: 1,000 円 (全席自由) お問合せ: 松下 0467-44-8856 G.Orbán「Mass No.6」 宮沢賢治の世界 中田喜直「アダムとイヴ」他 指揮: 箕輪健 ピアノ: 河本充代
4/7 (日)	洋光台混声合唱団 第10回記念アンディムジークコンサート 14:00 ~ 神奈川県立音楽堂 入場料: 1,500 円 (全席自由) お問合せ: 宮野 045-832-8438 谷川俊太郎に寄せて、松下耕作曲「信じる」他 指揮: 吉田孝古麿、川上勝功、土居規子 ピアノ: 須江太郎



輝け 20 周年！

逗子混声合唱団 創立 20 周年記念コンサート

2013 年 4 月 13 日（土） 14：30 開演／14：00 開場

逗子文化プラザ なぎさホール（JR 逗子駅下車 徒歩 5 分・京急新逗子駅下車 徒歩 2 分）

指揮 川上久美子 ピアノ 鈴木美恵子

ゲスト／ソリスト 阿部葉子 徳永桃子 那知上晃 中村隆太／ピアノ 徳永洋明 /演奏 アルス室内管弦楽団

I.組曲「逗子の民話」

松本はるこ 作詩 徳永洋明 作曲

お夏ぎつねと孫三郎

II.美空ひばりの世界

信長貴富 編曲

川の流れるように ほか

III.モーツァルト ミサ曲 KV220

IV.混声合唱のためのヒットメドレー「HANA」 三沢治美 編曲

主催：逗子混声合唱団

後援：神奈川県合唱連盟・逗子教育委員会・逗子合唱連盟・かながわ合唱指揮者クラブ・日本声楽発声学会

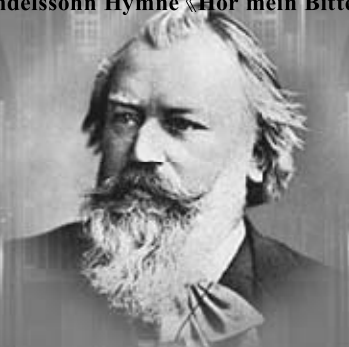
※入場料：1,000 円（全席自由）／お問合せ：TEL046-873-9814（黒川）

横浜合唱協会第62回定期演奏会

八尋和美先生指揮者就任40周年記念

BRAHMS

Ein deutsches Requiem op.45
Mendelssohn Hymne《Hör mein Bitten》



ドイツ・レクイエム

フェリックス・メンデルスゾーン 讃歌《わが祈りを聞きたまえ》

指揮：八尋和美

ソプラノ：天羽明恵・バリトン：吉原 輝

管弦楽：東京パッパ・カンタータ・アンサンブル

2013年2月3日(日)14:00開演(13:20開場)

横浜みなとみらいホール・大ホール

■料金(全席指定) S席:3,000円 A席:2,000円 学生席:500円

■チケットぴあ 0570-02-9999(コード:184-258) <http://t.pia.jp/>

■お問合せ Tel:045-894-3031(藤井) Mail: ycs_ensoukai@yahoo.co.jp

Choir Nuts Concert

クワイアーナッツ コンサート

- I ハンガリー曲集（聖ミカエルの歌 他）
- II スタジオリブリ名曲集（君をのせて 他）
- III Florent Schmitt 作曲 En bonnes voix より
- IV 日本の歌（めばえ、小鳥と娘 他）

指揮：高橋智子 ピアノ：水澤梨沙



2013年1月26日(土)

18:30 Open / 19:00 Start

入場料 1,000 円（全席自由）

・場所：栄区民文化センター リリスホール

・お問い合わせ：松崎 080-2337-5546

choirnuts@docomo.ne.jp

広告御希望の方は、最終ページの「コンサートガイド掲載要綱」をご覧ください。

全日本合唱コンクール課題曲集予約申込及び販売のお知らせ

合唱名曲シリーズ No.42 (平成 25 年度全日本合唱コンクール課題曲集) の予約を受け付けます。1 月 31 日 (月) までに申し込まれますと早くお手元に届きます。なお、30 冊以上申し込まれると版元より直送され、送料も無料になります。3 月中旬から県連事務所でも販売いたします。

「合唱名曲シリーズ No.42 (平成 25 年度全日本合唱コンクール課題曲集)」

価 格 定価：1,000 円 (消費税込み) [送料別途要：ただし、30 冊以上は送料無料]

発行日 平成 25 年 3 月 10 日 (予定)

【曲目一覧】 G (混声 General) M (男声 Männer) F (女声 Frauen)

- G1 O magnum mysterium Tomás Luis de Victoria 曲
 G2 Have mercy on us, O my Lord (「4 Motets」から) Aaron Copland 曲
 G3 どうしてだろうと (「地球ばんざい」から) まど・みちお 詩／鈴木憲夫 曲
 G4 屈折率 (「幻想小曲集」(宮沢賢治の詩による) から) 宮沢賢治 詩／旭井翔一 曲
 (平成 24 年度合唱組曲作品公募入選作品《第 23 回朝日作曲賞》)
- M1 Memento Salutis Auctor William Byrd 曲
 M2 Sometimes I feel like a motherless child Negro Spiritual / Fenno Heath 編 曲
 M3 五月の貴公子 (「朔太郎の四つの詩」から) 萩原朔太郎 詩／清水 脩 曲
 M4 水取り (「阿波」から) 三木 稔 曲
- F1 In Die Tribulationis Cristóbal de Morales 曲
 F2 The Virgin Martyrs Sigebert of Gembloux 詩／Helen Waddell 英訳／Samuel Barber 曲
 F3 雨の犬 (「この世界のぜんぶ」から) 池澤夏樹 詩／池辺晋一郎 曲
 F4 きょうの陽に (「明日のりんご」から) 新川和江 詩／高嶋みどり 曲

※各声部の 2 曲目のテーマは「北米大陸」

※ G4、M2、F3、F4 はピアノ伴奏。

※ G1、M1、F1 はラテン語。G2、M2、F2 は英語。

★県連からのお知らせ★

県連では下記の行事を開催いたします。是非お出かけください!

♪第 36 回神奈川県合唱フェスティバル

平成 25 年 2 月 11 日 (月・祝) 13:00 開演

県立音楽堂 入場無料 (要整理券)

♪第 15 回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト

平成 25 年 3 月 10 日 (日) 10:30 開演 (予定)

県立音楽堂 入場料：1,000 円 (18 歳以下無料)

♪第 35 回神奈川県ジュニア合唱祭

平成 25 年 3 月 31 日 (日) 13:00 開演 (予定)

県立音楽堂 入場無料 (要整理券)

各行事とも詳細は神奈川県合唱連盟事務局へ

TEL.045-681-6033 スタッフ常駐・平日 月・火・木・金 (12:00 ~ 16:00)

—— 県連からのお知らせ ——

<東日本大震災に伴う義援金募集について>

一昨年の総会でも通知いたしました通り、神奈川県合唱連盟は東日本大震災の被災地及び被災された方々への支援の一環として、一昨年4月以降の県連各行事における募金の呼びかけを行いました。同時に、神奈川県合唱連盟が窓口となり、各団体・個人からの義援金の受付も実施いたしました。その結果多数の団体、個人の皆様より暖かいご支援を頂きました。この場を借りて御礼を申し上げます。

いただきました義援金につきましては、少しでも早く現地で活用していただこうと、現在までに2011/5/24、6/29、8/31、9/28、2012/2/17の5回、朝日新聞厚生文化事業団に寄託いたしました(1,952,917円)。また今年度からは全日本合唱連盟の「被災地の合唱活動復興のための義援金」に寄託することになり、2012/9/14に第2回目の寄託を行いました(11,250円)。今後とも継続して募集しておりますので、合唱連盟経由での寄付をご希望される団体、個人の方は引き続き以下の口座までお届けいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【郵便振込】口座記号：00200-8-100874 加入者名：神奈川県合唱連盟

※領収書の発行はできません。また義援金への募金は税法上の寄付控除の対象とはなりませんのでご注意ください。

編集後記：早いもので、もう一年が経過しました。また今年もよろしくお願いいたします。なお、『杉山範雄の私的趣味の部屋』は都合により今号への掲載を休載させていただきました。次号掲載します。ご了承ください。(編集長K)

☆コンサートガイド掲載要綱☆

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを掲載することができます。掲載方法は「無料掲載」と「有料掲載」があります。それぞれ、必要事項を記したものを郵送かFAXまたはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、無料掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。なお、有料掲載と無料掲載の両方を希望する場合は、それぞれ個別にお申し込みください。

また有料掲載につきましては、神奈川県合唱連盟に所属していない団体からも掲載を受け付けることが可能です。その場合の料金に関しては、下記掲載料の倍額とさせていただきます。

1 無料掲載：①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問い合わせ連絡先(Tel/Fax/e-mail/HPの記載可)
⑦コメント(50字以内)を掲載いたします。下記申込書に記入後、メール、FAXで事務局までお申し込み下さい。

2 有料掲載：1/8号2,500円(1/4号5,000円、1/2号10,000円、1号20,000円)での有料掲載を行います。内容は基本的に自由ですが、事務局がカノンに掲載することがふさわしくないと判断したものについてはお断りすることがあります。希望するサイズでの出力見本(手書きも可)をメール、FAX等で送っていただき、各合唱団が作成した原稿をそのまま掲載するか、原稿案を元に事務局で作成いたします。

※カノン発行月と原稿締め切りの予定：春号 4月10日発行予定(〆切：3月10日) 夏号 7月10日発行予定(〆切：6月10日)
秋号 10月10日発行予定(〆切：9月10日) 冬号 1月10日発行予定(〆切：12月10日)

コンサートガイド無料掲載申込書

①合唱団名															
②演奏会名称															
③開催日時															
④会場															
⑤入場料等															
⑥問い合わせ連絡先															
⑦コメント (条件：全角50字以内、句読点は1文字換算、数字アルファベットは基本半角)															

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会
発行責任者 松村 努 編集責任者 栗林 宏至

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL：045-681-6033 FAX：045-662-5119

スタッフ常駐：平日：月火木金(休祝日を除く) 12:00～16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

